



ひかり

No.7

平成27年10月27日
千代田区立翹町小学校
校長 山田 茂利
URL <http://www.kojimachi-e.ed.jp/>

秋の澄み渡った青い空、色づいた木々の葉、正に芸術の秋と呼ぶにふさわしい季節。翹町小学校・幼稚園では学芸会を11月13日（金）・14日（土）に開催いたします。（保護者鑑賞日は14日です。）

今、子供たちは学校生活を楽しく豊かなものにするために、作品（演劇）づくりに挑戦しています。学芸会という2年に1度の学習は、国語の知識や技能を活用した発展的な学習という位置づけはもとより、まさに新たな挑戦であり、友達と協力して自分で道を切り開いていくという意味合いも強いと考えています。また、豊かな情操（心）を養うことも重要なねらいにしています。

保護者の皆様には、子供たちが力を合わせて作品（演劇）づくりに挑戦している姿をご覧いただくとともに、温かな励ましをお願いいたします。

さて、学芸会の練習の時間、子供たちから「体験的に学ぶことにより培われる心の力」を強く感じる時があります。その力とは、「自立心」「自己抑制力」「責任感」「共生」「寛容」などであり、体験という人の根本・根底で考え学ぶ（演じる）ということから得られる力だと思います。また、そのような体験から獲得する力は揺るぎない力ですから、難問に直面したとき応用がききます。ましてや、その力が学芸会という生涯忘れない行事の中での学びですから、自信にもなります。自信はやればきつとできるという力につながります。そのような学芸会になればと考えています。

このような心の力は、日々の学習やスポーツ、委員会活動などでも培われる力です。そのためにも様々な活動を通し、自分の目標を達成できたという経験を多く積ませたいものです。その経験が自信につながり、さらなる挑戦につながるはずです。

無論、努力が報われないこともあります。努力が足りないということもあります。それではどのようにすればよいか。

子供が「あきらめないで努力する」ためには、何より「好き」にさせることだと思います。

そのためには、次のような流れを作ることが大切です。

○好き→取り組む→できる→ほめる→さらに取り組む（続ける）→もっとできる→もっとほめる→ますます好きになる

（●一方悪い流れは：嫌い→努力しない→できない→叱る・注意する→おもしろくない→やらない→ますますやらない）

私たち大人にとっては、子供が●という澁みにとらわれることなく、○という良い流れに導き循環させてあげることが、大切な役割になるのではないのでしょうか。

だからこそ、本年度も、度々お話ししています通り、未来への希望である子供たちを誉め、自分のよさやできるようになったことを実感できるように、学校・家庭・地域等がそれぞれの役割の中で教育に取り組んでまいりましょう。



ところで、豊かな情操（心）を養うことは、11月に都の全公立学校で実施される第2回「トライ&チャレンジ（ふれあい）月間」及び「翹町小学校思いやり月間」の柱の一つでもあります。本校では、年間を通して豊かな情操（心）を育む教育活動を進めるとともに、11月はこの月間のもう一つの柱である「いじめ問題の防止、早期発見・対応」及び「体罰問題」にも取り組みます。

なお、各ご家庭においても、子供の声に耳を傾け、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもつとともに、いじめや暴力はいけないということについて再度ご指導いただき、何かご心配なことがございましたら学校にご相談、ご連絡くださるよう改めてお願いいたします。

読書活動について

11月16日から27日までの「秋の読書週間」は、子供たちが読む本のジャンルを広げ、より読書に親しみ、意欲を高めることをねらいにしています。

次に3つのデータをお知らせしますので、参考にされ、ご家庭での読書についての話題にしていただければと思います。

【データ1】家や学校で自分から読書をしている。(平成27年度前期児童アンケートから)

27前期	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全学年
回答1(とても)	48%	57%	43%	54%	52%	60%	52%
回答2(まあまあ)	27%	23%	25%	25%	34%	22%	26%
回答3(あまり)	18%	14%	20%	13%	14%	11%	15%
回答4(まったく)	7%	6%	11%	8%	0%	6%	7%

【データ2】平成27年4月1日～9月30日までの図書室の本の貸出数

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術・美術	言語	文学	その他	合計
1年	9	0	15	14	186	63	27	138	18	645	189	1304
2年	3	4	64	35	308	154	57	167	7	454	108	1361
3年	1	3	28	11	64	38	29	41	7	269	12	503
4年	5	1	8	17	24	45	11	19	5	466	2	603
5年	1	0	27	3	1	4	4	4	1	97	1	143
6年	0	2	3	3	3	12	10	6	0	185	0	224
合計	19	10	145	83	586	316	138	375	38	2116	312	4138

読書活動は、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けて行く上で大切なものです。

学校でも読書活動を推奨していきますので、読書週間を一つの機会としてご家庭でもお声かけください。

【データ3】貸出ランキングナンバー1・2(学年別)

<1年生>1「リトル・プリンセス(シリーズ)」, 2「かいけつゾロリのようなかい大リーグ」「物語の迷路」

<2年生>1「伝説の迷路」「フータブータのコロコロさんすう」, 2「ずかん宝石」「決定版らくらく自由工作」

<3年生>1「SOS海底探検」, 2「動物と話せる少女リリアーネ2」「戦場にひびく歌声」他3

<4年生>1「泣いちゃいそうだよ」, 2「若おかみは小学生!」「ハート虫は知っている」他3

<5年生>1「長篠・設楽原の合戦」, 2「パティシエ☆すばる 記念日のケーキ屋さん」「黒魔女さんが通る!!!」

「はてしない物語」「消えた自転車は知っている」「戦国武将55」「武田信玄と上杉謙信」他2

<6年生>1「初恋アニヴァーサリー」, 2「都会のトム&ソーヤ1」「おもしろい話を読みたい」

運動会のアンケートについて

過日は運動会のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。多くの方から演技・競技、会場等に関して高い評価をいただきました。ただし、会場関係ははじめこれで十分と言うことはございませんので、演技・競技、プログラム・時程などについてのご意見は、次年度計画の参考にさせていただきます。

なお、ご意見をいただきました組体操の安全等については、児童の実態や予定される指導時間数を十分に考慮し、取り組む技を検討し、その年度の組体操の計画を（構成等含めて）立案し次年度も実施いたしますことをご理解ください。

次にいただきました全体に関する主なご意見について、概要と対応をお知らせいたします。

○会場・観覧について

- ・赤組の応援席は日影がなく、強い日差しを終日受けていた。／保護者観覧場所が狭い。／敬老席が少ない。／休憩室が必要である。／校庭ではない他の施設（外濠公園総合グラウンド等）を会場として使ったらどうか。 → ※会場設営の課題、観覧場所等については、次年度計画の参考にさせていただきます。なお、会場を他の施設にすることは、練習や準備等から難しく本校校庭で改善・工夫しながら実施してまいりますことをご理解ください。
- ・ランチルームの開錠が遅かった。また、和室がお知らせと違って一部屋しか利用できなかった。 → ※このことについてお詫びいたします。
- ・昼食時に校舎内に入れる時間が幼稚園閉会式後であったため、ピロティが大変に混雑した。 → ※次年度計画の参考にさせていただきます。
- ・2階ベランダ職員室前は、演技・競技学年の保護者優先であったが、徹底されていなかった。 → ※次年度計画の参考にさせていただきます。

※観覧等のマナーについてはPTAにも連絡し、対応してまいります。

○進行について

- ・終了時刻を大幅に超えてしまっていた。 → ※次年度計画の参考にさせていただきます。

○その他

- ・児童数の増加による運動会の時間が長引くこと、また観覧場所の確保などの点から、幼稚園の参加は必要ないのではないか。 → ※運動会は幼稚園・小学校の連携（交流）を図る合同行事として、本区の全校園で実施しています。本校・園でも内容を改善しながら実施してまいりますのでご理解ください。
- ・昨年度との変更点、例えば校内への上履きの持参や昼食場所について徹底されていなかった。 → ※次年度計画の参考にさせていただきます。

運動会を終えて

体育主任 佐藤雄介

10月3日（土）、さわやかな秋晴れの下、子供たちのファイトと保護者・地域の皆様の応援のお力により、テーマ「心の中に炎をともし、全力疾走麴町！」の通りすばらしい運動会になったと思います。

特に、力を合わせて一人一人が力を出し切った演技（表現）や組体操では、心を一つにして取り組む

大切さを実感し、そして友達との信頼を築くとともに一人一人の自信につながったことと思います。子供たちが真剣な表情になって全力で挑戦する姿は、麴町小学校の宝物です。また、高学年は係活動でも活躍しました。そして、それを見ていた下級生は上級生へのあこがれをもつことができました。これが伝統、校風なのだと思います。今後もこのことを大切に、学校生活に生かしていくことを期待しています。

この1か月間にはたくさんの感動があり、練習を積み重ねる毎にどんどん成長していく子供たちをととても嬉しく感じました。そのような活動ができた子供たちに心から拍手を送りたいと思います。また、保護者の皆様には、児童への温かな励ましや健康などについてのご配慮、当日のお手伝いや片付け等にご協力いただき本当にありがとうございました。

今年の応援団

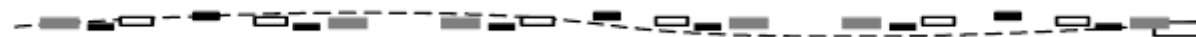
担当 齊藤直、佐々木淑恵

今年の応援団は「心を込めて力強く」をテーマにスタートしました。

応援団は毎日の朝練習をはじめ、運動会本番まで時間を無駄にすることなく練習を重ねました。はじめのうちは、大きな声を出すことは大変でしたが、仲間との練習を重ねるごとに、自信をもって堂々と声を出せるようになりました。団長を中心に、どうしたら勝利を呼び込む応援ができるのか子供たち同士で話し合う場面も多く見られました。「麴町小学校の応援を盛り上げていきたい！」という子供たちの気持ちが伝わる姿は、とても頼もしく感じました。

当日は、毎日の練習の成果を十分に発揮し、仲間と息を合わせて力強く応援することができました。運動会終了後の子供たちの表情はととても晴れやかで、達成感に満ちており、練習を開始した頃に比べて、一回りも二回りも大きく成長したと感じました。

来賓の方、保護者・地域の皆様にも一緒に応援いただきありがとうございました。お礼申し上げます。



お知らせ

1 「子どもの人権SOSミニレター」の配布について

10月中旬に東京法務局・東京都人権擁護委員連合会から「子どもの人権SOSミニレター」の配布について依頼がありました。この依頼を受け、学校では「子どもの人権SOSミニレター」が到着しだい、各担任から子供たちにミニレターの内容について説明し配布いたします。

2 学芸会（保護者鑑賞日）について

本日、学芸会のプログラムを配布いたしました。

11月14日（土）保護者鑑賞日には、多くの方のご来場、温かな励ましをお願いいたします。

※13日（金）は児童鑑賞日です。保護者の方は、14日（土）にご参観ください。なお、やむを得ない理由により、13日（金）に参観を希望される場合は、担任まで必ず連絡帳等でご連絡ください。

※プログラムのおよその時間や会場等、詳しいお知らせは後日配布いたします。